

平成31年 4月25日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧陶芸協会  
会長 中根 洋男

(仮称) 苫小牧市民ホール建設計画における活動室及び設備等に関する要望書

当協会は、昭和59年3月28日に9陶芸団体(陶芸家・サークル)で設立いたしました。以来、長年にわたり会長を務め平成18年度苫小牧市文化奨励賞を受賞した 佐藤 栄氏(平成27年逝去)を中心に、市民に対し陶芸の普及発展に努めてきております。現在も、その精神を引き継ぎ苫小牧市アートフェスティバル、苫小牧市民文化祭、道民芸術祭胆振陶芸展に積極的に参加する一方、同時に開催している陶芸体験教室の製作指導、また文化会館親子陶芸教室、市内4小学校及び1町内会に対する出前講座で製作指導・普及を続けているところです。

これら市主催の陶芸体験教室や出前講座における作品は、文化会館の美術陶芸室において乾燥、素焼、釉かけ、本焼きをした上で製作者に渡し、大変好評を得ているものであります。

陶芸は、市民の文化・芸術の中でも身近で関心の高い分野の一つで、老若男女を問わず創造性に富み、自分の持てる能力を十分に発揮できるものであり、自己の研鑽・努力によっては自立される人もいて、大きな 魅力を持っています。

(仮称) 苫小牧市民ホールが、市民のコミュニティを継承し、さらに高度で創発的な分化・芸術に係る活動と交流を振興する拠点となることを目指していることから、今後の本市の発展を見据えた場合に、これまで育まれ発展している陶芸をさらに高度で創造的な活動へと継続していくため、建設当初からの必然性を考え、下記の事項が十分配慮されますよう要望いたします。

#### 記

- 1、活動室は、焼成窯の高温(最高 1,260 度)を考慮し、燃焼時における作陶者に支障のない面積を確保すること。
- 2、活動室の焼成窯は、釉薬の変化の少ない電気窯 1 基と窯変が起き燃焼経費の少ない灯油窯 1 基を設置すること。
- 3、活動室には、陶芸制作のための作業台(1台6人用)を5台以上設置すること。
- 4、活動室には、電動ろくろを5台以上設置すること。
- 5、活動室には、陶芸教室や出前講座で制作した作品及び活動室利用者の作品を保管する十分な面積の作品戸棚を設置すること。
- 6、活動室には、多種類の釉薬を保管する場所を確保すること。

以上